



株式会社スコヒアファーマ

2020年7月28日

## **GPR40 フルアゴニスト(SCO-267)の前臨床試験に関する論文掲載について; SCO-267 は NAFLD に対する新しい治療戦略となる可能性**

株式会社スコヒアファーマの研究グループは GPR40 フルアゴニストである SCO-267 が非アルコール性脂肪性肝疾患(nonalcoholic fatty liver disease, NAFLD)の治療に有効であることを前臨床試験で明らかにしました。

この研究成果は「*Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics*」でオンライン公開されました。

### 論文名

The GPR40 full agonist SCO-267 improves liver parameters in a mouse model of nonalcoholic fatty liver disease without affecting glucose or body weight

<https://doi.org/10.1124/jpet.120.000046>

NAFLD は単純性脂肪肝と炎症を伴う非アルコール性脂肪性肝炎(nonalcoholic steatohepatitis, NASH)に分けられ、肝癌や肝硬変の要因になると考えられています。このような病態背景から有効な治療薬の登場が待ち望まれています。

GPR40 は膵臓の膵島細胞や腸管内分泌細胞に発現する G タンパク質共役受容体であり、その活性化は膵ホルモンや腸管ホルモンの分泌を促進させることが知られています。一方、これまでに GPR40 フルアゴニストの NAFLD への治療効果は知られていませんでした。今回、GPR40 フルアゴニストである SCO-267 が前臨床の NAFLD モデルマウスで肝臓関連指標を改善することを明らかにしました。SCO-267 は NAFLD マウスで病的な肝臓に治療効果を発揮すると考えられるグルカゴンおよび GLP-1 の分泌を促進しました。SCO-267 を反復投与することで NAFLD マウスの脂肪肝が改善し、肝障害や繊維化指標が低下しました。この時、肝臓中の酸化ストレス指標の低下、脂肪合成指標の低下と脂肪酸酸化指標の亢進、ミトコンドリア指標の上昇、炎症指標の低下が認められました。以上の結果は GPR40 フルアゴニストである SCO-267 が NAFLD に対する新しい治療戦略になる可能性があることを示しています。

以上

本件に関するお問い合わせ先

[info@scohia.com](mailto:info@scohia.com)